

2023年7月の行事予定表

1	土		16	日	礼拝式（奨励：寺島姉）
2	日	礼拝式（永松師）、聖餐式、役員会	17	月	
3	月		18	火	
4	火		19	水	
5	水		20	木	
6	木		21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	礼拝式（証し：片岡兄）
9	日	礼拝式（奨励：山村兄）	24	月	
10	月		25	火	
11	火		26	水	
12	水		27	木	
13	木		28	金	
14	金		29	土	
15	土		30	日	礼拝式（塩崎師説教/水島教会）
			31	月	

7月お誕生・洗礼記念日の皆様おめでとうございます。（敬称略）

編集後記

遠方よりの編集後記です。

- ◇ 現在暮らしている集合住宅は、敷地内に植栽が多く、春を迎えての転居だったので、次々と新芽を出す植物を楽しむことができました。
- ◇ 岡山を離れてからの教会の様子をあの方この方から何うと、並んで新芽を出す花々と重なりました。一人一人が何かを担い踏み出しているようで、神様に向かって成長していると感じました。
- ◇ 「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。（コリント第一の手紙3：6）」

教会月報

2023年7月

No.386

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

命を与えて愛する神様

『あなたの父と母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。』 出エジプト 20:12

『その時、イエスに手を置いて祈っていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスは言われた。「子供たちを来させなさい。わたしのところに来るのを妨げてはならない。天の国はこのような者たちのものである。」そして子供たちに手を置いてから、そこを立ち去られた。』 マタイ 19:13-14

今日は6月の3週目、世間的には「父の日」ということで、出エジプト記の十戒の五つめの戒め、「あなたの父母を敬え」を味わっていきます。

この戒めは「子どもは親の言うことを聞いて服従しなさい」という命令ではありません。そもそも出エジプトの出来事が、神様以外の誰かに支配される抑圧からの解放でした。親たちを通して命を与えた神様の業を重んじるなら、あなたは神様がお与えになる場所で、あなたの命を喜んで生き抜くことができる、とこの戒めは教えているのです。

生みの親に限らず、神様が与えた「あなた」の命を生かし続けた人たちは、大切にすべき「父」であり「母」である、と言っていいでしょう。彼らを通して「あなた」を生かしておられる神様の愛に心を向けるように、とこの戒めは呼びかけています。またその「父と母」も神様にとっては、命を与えて愛しておられる「子ども」たちだと聖書は宣言しています。私たちは誰もがみんな、神様から命を与えられて愛されている「子ども」たちなのです。

野村 友美 牧師(呉教会)～ 岡山教会6月18日礼拝説教要旨

～写真は、礼拝後の永松先生ご夫妻と野村先生。礼拝説教の中で、野村先生は、永松先生が楠葉台教会におられたころ、お父様の葬儀を司式していただいたそうです。また、子供のころ、牧師館のソファをトランポリンにして遊んだ、などの思い出をお話いただきました。～



齋藤清次師を偲んで



引退教職者・前岡山教会牧師 永松 清



去る、6月12日、89歳のご生涯(牧師歴65年間)を終え天に召された齋藤清次牧師を偲び追悼文を記します。

小生は教団の社会活動委員会の委員長時代以来、平和学習並びに平和研修のために数度沖縄を訪れました。その際、お世話いただいたのが齋藤先生でした。時間のかかることもいとわず、私どもの一行を受け入れてくださいました。そして、日曜日をはさむ時は、沖縄にある5教会での主日礼拝式の説教を担わせてくださいました。愛の労苦に感謝いたします。

齋藤先生の理事長時代、私は教団理事を務めておりましたが、献身者奨励のコース・キャンプが5か年で開催され、先生はその責任者として活躍されました。その結実として献身者が与えられ、今も活躍されています。齋藤先生の愛と熱情と粘りの結果と思います。

齋藤先生は温厚な性格でいらっしゃいました。そして、何よりも人を温かく見守り育ててくださるお方でした。山陽・四国地区の聖会講師としておいで下さり、岡山教会でも説教してくださいました。公私ともに親しく接して下さり、教え導きを受けたことは、感謝のほかありません。

葬儀・告別式の約300名に及ぶ参列者には先生の人徳が偲ばれました。最後に、娘さんの挨拶文を紹介します。『牧師を始めた愛知を振り出しに宮城・長崎と赴任を重ね沖縄に来て56年になりました。日曜の礼拝のほか、教団の役職、教戒師として又聖書学校で聖書を教える授業など多忙な日々を送り、最後まで現役の牧師として頑張っていたことを思い出します。そんな中でも家族とドライブを楽しみ食事にも連れて行ってくれた優しい父でした。孫の成長を心から喜び優しく見守ってくれたことも忘れられません。悲しんでいる人に接する時には愛をもって寄り添う...父からは人間としてあるべき姿をその日々の生活から学ばせてもらいました。愛で包み思いやりを教え、全てを与えてくれた父「愛し育ててくれたことに感謝しています。天国でお父さんに会いたいです。』



父にまつわる想いでやメッセージを募集しました。皆さんのご協力を感謝いたします。

S.O. 姉

父の帰宅第一声はいつも「お母さんは？」でした。ある日私はその一声の前に「お母ちゃんは急用でおばあちゃん家に行ったよ」とからかって伝えました。何も知らず母が出迎えると、たちまち父の表情が変わり面白かったのを思い出します。70歳で逝き、晩年は病弱だった父でした。私たち三人の子らはそれぞれが生きる過程において様々な重要問題で大いに父を悩ませました。父を偲ぶ時「ごめんなさい」「ありがとう」といつも語りかけています。

I.S. 姉

私の亡父は1925年生まれ。第二次世界大戦の特攻世代です。教師だったので徴兵免除でしたが、当時の父のアルバムには、戦地で亡くなったという友人が沢山並んでいたのを覚えています。専門は父の世代には珍しく、軟派と言われた音楽。その父のおかげで、私ももの心ついた頃には常に周囲に音楽がありました。父が亡くなって20年。今は父の影響でずっと慣れ親しんできた音楽で、喜びに溢れながら賛美ができること、私には何よりもかけがえのない恵みとなっています。

A.S. 姉

愛する老公(M.S., 夫)へ:HとM.はいつもパパが大好きです。そしてamyも老公を愛しています。私にとっては夢のような幸せな生活です。私たちの家庭を愛と幸せで満たしてくれてありがとう。マイケルパパ(Michael Poh, 父)へ:パパがそばにいなかったら、私の人生はどうなっていたでしょう。私を常に元気づけてくれるパパが、これからの人生に、神が健康と優しい笑顔を与え、祝福してくださいましたことを祈ります。お父さん(T.S., 義父)へ:いつも私を実の娘のように可愛がってくれて有難うございます。いつも気遣ってくれ、時には、私の友人の様です。今は一緒に過ごしてくれて嬉しいです。

K.Y. 兄

わたしの父は以前にもお証しさせて頂いたように絵に描いたようなダメ親父でありまして、夜中に呑んで帰って次の日は仕事休んで...幼かったわたしや弟への殴る蹴るは日常茶飯事でした。教会での学びや気付きによって、そんな親であっても、自分が生まれたのはその父がいたからだ確認することによって「親父」と口に出すことが出来るようになりました。「過つは人、許すは神」わたしが父を裁いていたことを反省し、愛情を持って接して下さった方々へ感謝して、すべての人に優しく接することが出来るよう祈って歩みたいと思います。

久しぶりの女性会

6月11日

久しぶりに例会を開催できて、うれしく思います。予告もせず、当日、声かけをしたにもかかわらず10名の方々に参加していただき感謝です。軽食の後、楽しい時間でした。

2023年度の活動予定を皆様に理解していただき承認していただきました。賛美も2曲。そのうち1曲は、故・土居通子姉のお好きだった505番「主我を愛す」でした。

思えば、多くの姉妹が天に召されました。会員数が少なくなりますが、今いらっしゃる方々と共に女性会を守り、楽しく明るく教会に集りたいと思います。高齢者の方々も多くなり、集会への参加もむづかしくなりつつあります。祈りつつ、主の道を行って行きたいと思ひます。皆様のお証しを心より感謝致します。(H.K.)

E.S. 兄

父が亡くなって9年過ぎました。生前の父は趣味の多い人でした。写真、水墨画、習字、カラオケ(のど自慢出場)。若い時にはバドミントンで国体に出場したそうで、本当は私に、テニスではなくバドミントンをしてほしかった様です。いつも元気で明るく食べる事も好きで、肉とうなぎにはうさかったです。私が今、生かされている意味は兄が亡くなっているからお墓を守ることだと思っています。これからもおやじとおふくろに感謝して、一日一日を大事に生きていきたいと思っています。もう一度会えるものなら、焼肉を食べに連れて行ってあげたいです。

Pdt.ジェフリー・スティルゴ

私は2人の子供の父親です。3つの学びは~①子育ては神からの特権です。子育ての時間は限られています。親として神の前に責任があります。②親として、私たちは間違いを犯します。それは正常です。敬虔な子育ては、私たちが自分の限界、間違い、罪を認める方法です。③父親であることで最も重要なことは、家族とどのように充実した時間を過ごすことができるかということです。私の父は約5年前に80歳で亡くなりました。最も美しい思い出と一緒に時間を過ごしたことです。私は父親として、キリストにあって家族を導く義務があります。この召しは美しいです。エペソ人への手紙6章3-4節:(原文を翻訳)

